

神戸臨床小児歯科学研究会 (KSCP)
40周年記念講演会、平成23年度総会のお知らせ

神戸臨床小児歯科学研究会
会長 神原 修

日頃は当研究会の活動にご協力いただきありがとうございます。

神戸臨床小児歯科学研究会はこの4月で創立40周年を迎えます。つきましては、下記の要領で40周年記念講演会、平成23年度総会を開催することとなりました。

万障お繰り合わせのうえ、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

【日時】平成24年4月15日(日)

11:00 ~ 平成23年度神戸臨床小児歯科学研究会(KSCP)総会

11:30 ~ KSCP 創立40周年記念講演

講師：有田憲司大阪歯科大学小児歯科学教室主任教授

演題：「小児歯科臨床のパラダイムシフト」

【講師略歴】

昭和59年3月 大阪歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了

昭和59年4月 徳島大学歯学部附属病院医員

平成3年11月 徳島大学歯学部助教授

平成23年10月 大阪歯科大学主任教授(小児歯科学講座担当)

平成23年12月 大阪歯科大学大学院教授

12:30 ~ KSCP 創立40周年記念式典・懇親会

月報2月号のお知らせと開始時間を変更しておりますのでご注意ください。

【会場】生田神社会館(生田神社内)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通1-2-1 Tel: 078-391-8765

【会費】 講演会；KSCP 会員無料、ビジター¥5,000

記念パーティー；KSCP 会員¥3,000、ビジター¥5,000

なお、当日のご入会も受け付けております。(入会金¥10,000、年会費¥10,000)

準備の都合上、参加ご希望の方は3月23日(金)までに司馬までお知らせください。

申し込み先・問い合わせ先：司馬歯科医院 shiba_dental_clinic_2004@yahoo.co.jp Fax: 078-978-0516

なお、当日参加も可能ですが、事前登録にご協力ください。

【講演抄録】

日本小児歯科学会は今年で設立50周年を迎えましたが、皮肉なことに小児歯科医療は行く先を見失いかけています。この閉塞状態を何とか打開するにはイノベーション、つまり小児歯科医療のパラダイムシフトが契機の課題です。

これまで、小児歯科医療は齲蝕や不正咬合の治療に専念し、それなりの効果はあげました。しかし、いつの間にか歯を治すことにこだわりすぎて視野狭窄に陥っていたのではないのでしょうか。気づけば、小児の疾病構造は変化し、齲蝕は減少し、虐待性齲蝕、低年齢児外傷、小児顎関節症などが顕在化し、自閉症スペクトラムなど軽度発達遅滞障碍児が増えました。「治療」から「機能」や「こころ」に視点を転じれば、小児歯科において摂食・嚥下機能の発育やの母親への育児相談・支援などの重要性や、胎児期および無歯期からの小児歯科受診システム構築の必要性が見えてきます。

今回、無謀にも小児歯科の新ビジョンを提示します。反論をいただき、新たな小児歯科医療について大いに止揚(aufheben)しようではありませんか。